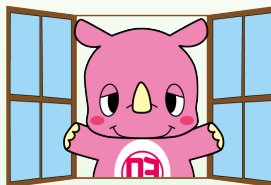


対話を紡ぎ、共に創る コミュニティ・スクール



令和8年度
コミュニティ・
スクール通信1号
印西市生涯学習課

令和7年度より、印西中学校区において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されました。今年度は、原山中学校区、印旛中学校区のほか、船穂小学校、木刈中学校、木刈小学校、小倉台小学校の単独設置校を含む合計11校で新たに導入が進められています。印西市では、今後段階的に導入を進め、令和10年度末までに、市内すべての公立小・中学校での実施を目指しています。

「コミュニティ・スクール」とは？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

学校運営協議会とは、地域の方々や保護者が委員として参加し、学校と共にこどもたちを育てる目標を共有しながら、一定の権限をもって学校運営に参画する制度です。

学校の現状や課題について話し合い、地域や保護者にできることを考え、実際の取組につなげていくことで、学校と地域が連携・協力して子どもの成長を支えていきます。この仕組が機能することで、教育の質の向上や学校の課題の解決、さらには、地域の活性化が期待されます。また、こどもたちは、社会とのつながりのなかで「生きる力」を育むことができます。

木刈中学校 学校運営協議会 開催レポート

木刈中学校では今年度から学校運営協議会がスタートしました。4月28日には、第1回目の協議会が開催されました。

当日は、渡邊教育長より「本日の協議会が、こどもたちが安心して学べる環境づくり、そして学校と地域の信頼関係を深める場となることを期待しています」とのあいさつがあり、委員へ任命書が手渡されました。



教育長から委員の任命



学校長より経営方針の説明

その後、各委員が「木刈中の印象」や「学校運営協議会に期待すること」などを交えて自己紹介を行い、会長、副会長が選出されて議事に入りました。

議事1「令和8年度学校運営協議会の基本方針等について」では、事務局から方針や年間計画が提示されました。その中で「中学校卒業時まで育てたい子ども像」や、「目指す学校像に関するビジョン」を共有し、実現に向けた取組について協議することを確認し、委員により承認されました。

議事2「木刈中学校の学校運営方針等について」では、校長からのプレゼンテーションを用いた説明が行われ、その後、委員を2つのグループに分け熟議（熟慮と議論）を行いました。

熟議では次のような意見が出されました。「困難を乗り越える力や自分と対話し、やり抜く力を育成したい」、「大規模校特有の負担」、「生徒会の福祉委員会を地域に開けないだろうか」、「SNS授業など、現代的課題を保護者・地域と共に学ぶ機会を作りたい」、「コミュニティ・スクールの取組を地域に発信してほしい」これらの意見を踏まえ、学校運営方針について承認されました。

なお、第2回学校運営協議会は8月に開催予定です。学区の木刈小学校・小倉台小学校とともに「木刈中学校区」として、合同開催を予定しています。



熟議の様子